

プレゼンテーション審査評価基準

評価ポイント及び配点

項目		評価ポイント	配点
1.	本市課題への理解と提案の明確性	本市の現状と具体的な課題を深く理解し、その解決策となる提案が論理的かつ極めて明確に説明されているか。	20
2.	情報伝達能力と資料の質	発表者の説明が非常に分かりやすく、使用する資料(スライド等)が視覚的に優れており、情報が効果的かつ魅力的に伝わったか。	20
3.	提案者の熱意と信頼性	プレゼンテーション全体から、本市への貢献に対する強い熱意が感じられ、質疑応答を含め終始誠実で信頼に足る態度であったか。	20
4.	提案の独自性と将来展望	提案内容に他社にはない独自性や付加価値があり、本市の将来の発展や市民サービスの向上に対する明確なビジョンが提示されているか。	20
5.	実運用への適合性と共感性	提案が本市の実際の業務環境に円滑に適合し、導入後のスムーズな運用が具体的にイメージできるか、また提案内容が審査員の共感を呼ぶものであったか。	20
合計			100

採点基準

評価	評価内容	採点基準
A	優秀である	配点×1.0
B	満足である	配点×0.8
C	標準的である	配点×0.6
D	物足りない	配点×0.4
E	劣っている	配点×0.2
F	要求水準を満たしていない	配点×0.0

上記の評価ポイントをもとに審査委員会の委員がそれぞれ評価を行い、その平均値(小数点第3位を切り捨て)に0.1を乗じたものを得点とする(最終得点においても小数点第3位を切り捨て)。